

日野市観光協会だより

第37号（令和4年11月発行）

特定非営利活動法人 日野市観光協会
<http://www.shinsenhino.com/>



日野市内、行事あるところに事業部あり

事業部長 亀山 孝一

「事業部」というと、皆様は何を思い浮かべますでしょうか。事業部の目的は、「日野市観光協会が行う各種事業の企画立案、市及び各団体が行う事業に参加し協力する」とあります。日野市内で開催されるいくつかの行事に何かしらの形で事業部が参加しており、まさに「行事あるところに事業部あり」と言っても過言ではないと自負しております。

さて、事業部は様々な行事に参加していると述べましたが、一年を俯瞰してみますと、まずは「高幡不動尊節分会」における福袋販売です。高幡不動尊の縁起物である、「ほのほうちわ」や、干支の置物などを1つの袋に詰め、参詣の皆様へ頒布しております。

次に11月に開催される「日野市産業まつり」におけるブースの出店です。このブースでは、日野市内各団体の事業案内や、姉妹都市を結んでいる岩手県紫波町、新選組を通じて交流のある福島

県会津若松市、そして東京都八丈町の物産を販売しております。事業部では足を運んでいただくべく、スーパーボールすくいも実施しております。

年間を通じた事業部の事業として「伸びゆく日野市写真コンクール」があります。これは、市内の観光的景観、行事や地元の産業など日野市の魅力を写した作品を募集するものです。これまでは多くの祭りなどを通じて写された、日野市の顔が作品として出品されておりました。時流に合わせて、新たにデジタル写真もデータ部門として応募を受け付けたところ、より多くの皆様からの応募がありました。コロナ禍の今だからこそ、改めてみる日野市の風景に審査員も目を見張るものがありました。まもなく写真コンクールも60回目を迎えるようとしています。少しずつ行事が再開され、より多くの作品で賑わうことを願うばかりです。

事業部では、今後、新たな取り組みもしていきたいと考えております。日野市には、観光資源がたくさんあります。見逃していた観光資源にスポットを当て、日野市の魅力が日野市民だけでなく、多くの市外の方にも広がるよう新たな事業を進めていきたいと思っております。

令和4年度定期総会を開催

6月3日(金)

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を講じ、高幡不動尊信徒会館に於いて、3年振りに総会を開催いたしました。正会員155名のうち出席者数121名（うち書面表決62名、委任状17名）市長、市議会議長ほか来賓の方々をお招きし、各部会を中心に事業報告・決算報告並びに事業計画・予算計画を提案し、全会一致で可決承認となりました。

各部会から提案のありました内容を事前に企画室で、十分に協議をして議案書を作成。正副会長会、常任理事会、理事会、総会と順を追って審議



していただきました。来年は各会員同士が交流する懇親会が出来る事を願っております。

(総務部長 滝瀬仁久)

第25回 ひの新選組まつり

5月7日(土)

第25回ひの新選組まつりは、隊士コンテストを中心としたイベントを行い YouTube 配信、またWEB上のクイズを行うなどの形で実施しました。コロナ禍により、盛大なパレードは中止となりましたが、3年ぶりの隊士コンテストでは、参加者35名の方々から新選組や日野市に対する熱い熱い思いが伝わってきました。

来る第26回、令和5年のひの新選組まつりは、コロナ禍でも雨天でも実施できる企画として、「新選組のふるさと日野」を多くの人に楽しんでいただけるよう、着々と準備が進んでいます。



(ひの新選組まつり実行委員長 山口徹雄)

NHKのど自慢 日野市で開催

8月14日(日)

日野市「ひの煉瓦ホール」で行われたNHKのど自慢には合計1,224組が応募。事前審査を通過した180組が前日の予選会に臨み、NHKとの連携により予選会の模様をJ:COMで特別番組として放送しました。

平均視聴率10.4倍(前月比)、最高視聴率14.4倍と非常に多くの方にご視聴いただきました。

地域の企業にもご協力いただき、日野市全体で盛り上げた番組は地域の皆様に喜んでいただけたと思います。

(J:COM東京 八王子・日野局 局長 葛西昭人)



第38回高幡不動尊あじさいまつり 6月1日(水)～30日(木)

今年も高幡不動尊あじさいまつりが開催されました。境内に咲く約7,800株のあじさいは、昨年に比べ遅く咲き始めたため、6月末まで綺麗なあじさいを鑑賞できたかと思います。一昨年から続くコロナ禍で昨年は規模を縮小しましたが、今年は少年柔剣道大会、写仏会、薄茶接待を3年ぶりに行い、恒例の俳句・短歌大会、写真コンクール、山内八十八ヶ所めぐりクイズも参拝者に楽しんでいただきました。

来年こそ通常に開催できることを願い、皆様の来山をお待ちしております。(高幡不動尊)



曼珠沙華が百万本となる日まで



今年の曼珠沙華は9月上旬から咲き始め、美しい花が開き、境内の山を赤く彩りました。敬老の日、秋分の日各連休は、雨の日が続きましたが、あいにくの天気の中でも日野市内の方をはじめ、遠方からのお客様も増え、大勢の方が来られて鑑賞されました。最近電話での問い合わせが多くなりましたが、数年前からお寺でもInstagramを始めて参拝者に情報を提供してきました。百万本に近づけるよう益々のお力添えの程お願い申し上げます。(高幡不動尊)

東京都主催オンラインツアー

「夏休み探検ツアー～モノレールの車両基地と動物園の裏側へ!～」に協力

8月21日(日)に東京都主催のオンラインツアーが実施され、多摩モノレールも参加しました。当日は車両基地内を回りながら会社の歴史や車両の仕組み、運転士の業務、工作車(工事用作業車)について説明を行いました。オンラインツアーは初めての経験であったため、視聴者に分かりやすく、そして楽しんでいただけるよう内容や台本を試行錯誤しリハーサルも実施しました。当日はその甲斐あって多くの参加者に楽しんでもらえました。当社も車両基地見学の新たな手法を学ぶことができ、貴重な経験となりました。なお、このオンラインツアーでは、ほかに多摩動物公園のバックヤードの見学や観光協会が日野市の説明を行っています。

(多摩都市モノレール 後藤研二)



「平山季重まつり」の平山季重ってどんな人？
企画展 **「鎌倉殿の平山季重」に学ぶ**

10月23日(日)秋晴れのもと、3年ぶりに「平山季重まつり」が開催されました。この平山季重とはどのような武将なのか？資料によると、日奉氏(古代日本で太陽祭祀を任務とした)一族のうち、現在の日野市平山地域を拠点とし、その地名を氏として名乗った平山氏にルーツを持つとされる。源義経軍として一ノ谷の戦いで激しく戦い、その活躍によって「鎌倉殿の御家人」の

勇猛な武士の一人として後世まで語り継がれることになったと伝えられ今年NHK大河ドラマ『鎌倉殿の13人』にも登場するのでは…と期待する声もあったとか。平山城址公園にほど近い宋印寺



に墓があるほか、高幡不動尊などにもゆかりの品が納められています。

この企画展「鎌倉殿の平山季重」は日野市郷土資料館で開催中(12月4日まで)。

伸びゆく日野市写真コンクール作品募集

応募期間 12月13日(火)～1月13日(金)

魅力ある「日野」の姿を、あなたの視点で再発見し表現してください。プリント(日野市観光協会へ郵送か持参)とデータ、いずれでも応募可能です。詳細は要項をご覧ください。(事業部)



これからの行事予定

- 1月1日(祝)～7日(土) 日野七福神めぐり (市内7ヶ寺)
- 2月3日(金) 節分会(高幡不動尊)
- 2月上旬～3月中旬 京王百草園梅まつり

日野市観光協会の歩み 1958年(昭和33年)、日野町・七生村が合併し都立多摩動物公園が開園した年に日野観光協会として発足しました。1987年(昭和62年)日野観光協会から日野市観光協会へと名称を変更し、2006年(平成18年)3月28日に「特定非営利活動法人」の認可を受けました。その間、「菊まつり」「新選組まつり」をはじめ多くの事業を実施し2005年(平成17年)には事務局を「日野宿本陣」の敷地内に移転しました。

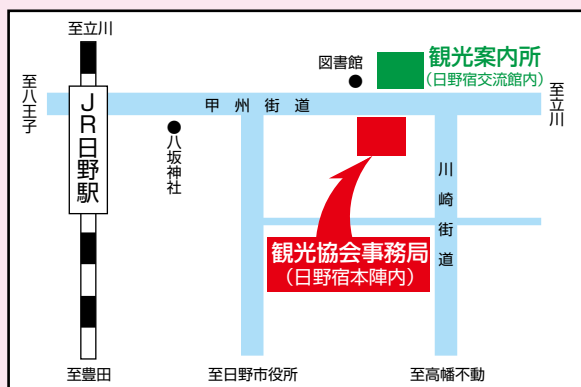
バナー広告主募集

現在、日野市観光協会ではバナー広告主を募集しております。ぜひご検討ください。

(サイド月額 会員 2,500円 一般 5,000円)

特定非営利活動法人 **日野市観光協会 事務局**

9:00AM～5:00PM 月曜休(祝日の場合は翌平日)
〒191-0011 東京都日野市日野本町 2-15-9
TEL(042)586-8808 FAX(042)586-8961
E-mail info@shinsenhino.com



会員募集

特定非営利活動法人日野市観光協会では会員を募集しています。日野市の観光や新選組、その他イベント等に興味のある方の入会をお待ちしています。詳しくは事務局までお問い合わせください。

編集後記

10月に入り、日野市内でもコロナ患者数が8月比10分の1と大きく減少してきました。この2年半、with コロナ・DX対応から学べた事が多々ありました。様々な分野でデジタル化が進み、古き良きと新たな生活スタイルが共存する時代となりました。この秋口から冬場にかけて、また来たる2023年は「ワクワクする」イベントがどんどん開催されていくと思います。是非、「仲間の英知」を結集し、「日野」の魅力を全国に向けてアピールしていきましょう!! (J)